

中道研だより

令和4年 春号
京都市立中学校教育研究会
道徳部会
連絡先 中山（藤森中）

本格的な夏を感じる日が多くなりました。皆様、お変わりないでしょうか。教科書導入4年目、授業を担当される方は研鑽が続いていると思います。今年度も道徳部会が「中道研だより」を発行していきますので、引き続きご活用いただければ幸いです。

1 道徳研究会とは？

そもそも、道徳とはなんでしょうか。意味を調べてみると「社会生活を営む上で、ひとりひとりが守るべき行為の規準（の総体）。自分の良心によって、善を行い悪を行わないこと。」と示されます。しかし、現実世界を俯瞰してみると、その「善」や「悪」の判断が、多様で、煩雑で、混沌としており、その見極めの境界線は非常に曖昧で、一言で言い切ることは困難なことがわかります。

つまり道徳とは、簡単に判断がつかないものを悩み、迷いながらも考え続ける姿勢を肯定することなのかも知れません。だからこそ、道徳研究会では簡単に答えが示せる問いではなく、深い思考が必要とされる価値項目と格闘し続けてきました。道徳が教科となり、教科書が配られたからと言って、その「考え続ける」必要性は何ら変わりません。

今年度の研究テーマ

『生徒の学びを深める教科書教材を使った指導法

～ともに考え深める授業づくりと、繋がる学びの実現～』

汎用性が求められる教科書の教材を使いながらも、目の前の生徒の興味関心を高め、深い学びにしていく指導法が我々には必要です。そのためにも、今年度は、教科書の活用を前提に、深い学びを引き出す指導法・指導案の作成について、ねらいの立て方からもう一度取り組みたいと考えています。

また、生徒たちが多面的に、かつ深く考えられることができるように、できる範囲で他者との話し合いや議論の場を作る「他者との協働」を思考の磨き合いととらえ、多角的な視点から思考の盲点に気づきを与え、学びを掘り起こす授業展開を発信していきたいと考えています。 <藤森中・中山>



2 道徳研究会のホームページ・Teamsのお知らせ

道徳研究会では、ホームページを開設し、昨年度は近畿大会をオンラインで開催しました。道徳研究会が主催する学習会や研究会冊子、中道研だよりなどの色んな情報を掲載していきます。また、委員会と連携して、Teams「中学校 道徳全市共有チーム」で、教材や授業実践紹介などの様々なコンテンツも準備しています。皆さんと一緒によりよい道徳教育・道徳科の授業を目指していきたいと思いますので、ぜひご活用ください。ホームページについては以下のQRコードもしくはURLから閲覧してください。Teamsについては、以下のコードをTeamsで入力して参加をお願いします。

【道徳研究会ホームページ】

URL：<https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/jhsEdMoSu>

【Teams：中学校 道徳全市共有チーム】

チームコード：rn5ccvi



3 マイスター・シニアマイスターの紹介

京都市立中学校教育研究会道徳部会には、マイスター・シニアマイスターの先生方がおられます。熱心に色々な授業実践をされていますので、機会を見つけて情報交換などされてはいかがでしょうか。

【シニアマイスター】



開晴小中学校 上田 紗和子先生
先生にとって道徳の魅力とは？
⇒私も生徒も学年教師団も、みんなで道徳について語り合えること…ねらいに迫り、自分自身をふりかえる良い機会となっています。そして、学級経営・生徒理解の一助、バロメーターだなあと感じます。



桃山中学校 岡田 円香先生
先生にとって道徳の魅力とは？
⇒今まで生きてきた中で、みんな価値観が違うこと。そして、それを共有できているときに、おもしろいなと思います！



下京中学校 安丸 耕平先生
この1年で実践・研究したいと思っていることは？
⇒GIGA 端末を活用し、生徒の学びが深まる授業の実践です！

【マイスター】



山科中学校 上山 貴子先生
この1年で実践・研究したいと思っていることは？
⇒考え・議論を深めるための工夫（主に揺さぶりなどの追発問と、思考ツールの活用）です！



岡崎中学校 辻内 祥吾先生
この1年で実践・研究したいと思っていることは？
⇒これからの生き方につながる授業にするためにどんな発問が良いのか、どんな追発問が良いのかを考えたいです。



大原野中学校 木下 愛実先生
先生にとって道徳の魅力とは？
⇒生徒が自分の生き方について考えていることを共有できることです。また、指導する中で、これまで知らなかった生徒の考えを知ることができたり、教科では見せない表情を見ることができたりするところです。



松原中学校 福岡 万史先生
先生にとって道徳の魅力とは？
⇒教科の授業とともに、心の授業は子どもたちのこれからの生き方に、大きな影響を与えていると思っています。道徳科の授業で葛藤を生み、どのように子どもたちに伝えていくかという点で、重要性を感じています。もっていき方次第で、考えを広げたり、自分の行動を変えていこうとしたりする姿を見られることが道徳の魅力です。



藤森中学校 池田 敏浩先生
先生にとって道徳の魅力とは？
⇒子どもと一緒に授業を作れることです。



榎原中学校 野田 友美先生
この1年で実践・研究したいと思っていることは？
⇒榎原中(児童養護施設が校区内に複数ある)という環境の中で、家族愛をテーマにどのような授業展開ができるのか。生徒の予想される反応や留意点を適切に判断することができるのか。



加茂川中学校 寸田 寛先生
先生にとって道徳の魅力とは？
⇒道徳での意見交換を通して子どもたちの心の中を感じることができるからです。また、お互いの意見を認め合うことを通して、お互いが大切な存在であることを確認できる時間になるからです。



ひよこのつぶやき コーナー



道徳教育や道徳の授業でこんなことで困っていませんか？

- ・ 指導案はあるけれども、どのように道徳の授業を展開すればいいの？
- ・ 道徳の教材研究や指導案作成が上手くいかない。
- ・ 道徳の授業で、ICT を活用したいけど、どのように活用したらいいのかわからない。
- ・ 普段の教科の授業で道徳をどのように絡めたらいいのかわからない。 など

道徳研究会のメンバーも授業展開を提案したり、活用例の紹介をしたりなどみなさんと一緒に考えたいと思っています。ぜひ、以下の QR コードもしくは URL から投稿してみてください。

先生方の困っていることが、みんなも困っていることかもしれませんよ。

※自動送信のシステムがないので、返信まで時間がかかる場合があります。ご了承ください！

【お悩み相談投稿箱】

URL:<https://forms.office.com/r/8X6ybh2YUM>



道徳教育に関する研修会・学習会・弁論大会



- ◆7/26 (火) 道徳教育夏季研修講座 午後13:30～
- ◆8/2 (火) 第27回京都市道徳教育研究大会 午後13:30～
- ◆11/5 (土) 第64回京都市中学校弁論大会 午後13:00～

が予定されています。研修会・研究大会はオンラインでの実施となります。まだ、時期が未定ですが、学習会も2回実施予定です。研修会をはじめ、参加していただくと、きっと心地の良い疲れを感じ、参加して良かった！と思えます。ご参加、お待ちしております！